



人の心の痛みを感じる
～感性を豊かにする習慣～

2月6日に発生したトルコとシリアを襲った大地震から約3週間、死者は5万人を超え、約86万5000人がテントで、2万3500人がコンテナハウスで暮らしているほか、37万6000人が被災地以外の学生寮や公共の宿泊施設で暮らしているという記事を目にした。

決して風化させてはならない東日本大震災の発生から11日で12年が経過する。この地震では約2万2000人の死者・行方不明者が発生した。このことから今回の地震の被害状況が想像でき、心が痛む。

また、ロシアがウクライナへの侵略を開始して1年が経った。米欧の推計では双方の兵士計30万人が死傷し、民間人2万人が死傷する中、戦争終結の見通しは立たないままである。

1945年に終戦となった15年にわたる第二次世界大戦では日本人の戦士230万人、民間人の国外での死亡30万人、国内での空襲等による死者50万人以上、合計310万人以上の犠牲をもたらした。

戦争が長引けば長引くほど犠牲者が増加していくことは言うまでもない。早期の終戦を心から願うばかりである。

世界に目を向け、歴史を振り返りながら自分事として様々な事象を考えることで人としてあるべき姿を思い浮かべることができる。たとえ実体験なくとも見たり、聞いたり、読んだりして、様々な情報から物事を考える。そして自分なりの見解を持ち、他と比較する。比較した結果、一方的な自己の考え方だけでなく、多様な考え方があることに気づく。このようなことを繰り返すことで他を思い、心に感じる習慣が身につくことで感性が豊かになっていくと思う。

人から心をとったら人ではなくなる。人の心の痛みを感じるができる人間は人を傷つけたり、酷い争いはしない。逆に人を助け、優しさをもたらすものであると信じている。

現在、おおぐろの森中学校の生徒は3月7日に開催される3年生を送る会の準備を進めている。1、2年生は卒業していく3年生3名の生徒のために、感謝の気持ちを持ち、さらに各学年が成長するために発表の役割ごと必死に取り組む姿が随所に見受けられる。3年生も受験が終了し、この1、2年生の取り組みにこたえる発表の準備をしている。これこそ協働的な学びであり、体験学習であると実感している。生徒は各教科では学ぶことのできない貴重な体験を通して、必ず心に残る何かを感じるであろう。保護者の皆様にも是非ご参観いただきたい。



これからも世の中に目を向け、様々な活動や人の心を感じる感性を持ち、更なる人間力の向上を願っている。

保護者の皆様、地域の皆様には開校から御支援、御協力いただいたことに感謝を申し上げます、本年度を締めくくる。

★ 3月の主な行事予定

3月2日(木)	全校委員会 3年 校外学習	3月10日(金)	第1回卒業証書授与式 給食なし
3月3日(金)	千葉県公立入試発表日	3月16日(木)	オープンスクール(木1~3) 学年末保護者会 14:00~
3月6日(月)	3年生を送る会前日準備	3月20日(月)	金1~5
3月7日(火)	3年生を送る会	3月22日(水)	木4~6・大掃除 給食最終日
3月9日(木)	卒業式前日準備	3月24日(金)	修了式

★ おおぐろの森中学生徒の活躍

- 第36回千葉県吹奏楽コンクール個人コンクール東葛飾大会
優秀賞 トロンボーン 2年 中村柚葉 さん ピアノ 1年 石田 さん
優秀賞 ユーフォニアム 2年 阿部真希 さん ピアノ 2年 木村 さん
- 第75回書き初め書き初め展覧会中央審査会 君津市長賞 2年 張 さん

★ プロフェッショナルから学ぶ『田中史朗選手講演会・ラグビー体験』

先日、ラグビー元日本代表、ワールドカップにも3大会連続出場した田中史朗選手をお迎えし、講演会・ラグビー体験会を行っていただきました。講演会では、フリーアナウンサーの佐藤由季さんとの対談形式で行ってくれました。体験会では、約60人の生徒が自ら参加し、ラグビーボールを使い、パス回しや田中選手が蹴ったボールをキャッチするなど行いました。ゲームに勝ったチームには、ラグビーグッズを賞品としてたくさんプレゼントしていただき、全員にサインをしてくださいました。最後にはラグビーボールとタグラグビーのワンタッチテープを40セット学校に寄贈していただきました。

